

令和8年度予算見積調書

課室名：健康長寿課
担当名：母子保健担当
内線：3662

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
S163	移行期医療支援体制整備事業			一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	小児慢性特定疾病対策費
事業期間	令和元年度～ 法 令	根 拠	小児慢性特定疾病対策等総合支援事業実施要綱	針路 分野施策	03	介護・医療体制の充実	SDGsゴール SDGsターゲット	3 3-4
1 事業概要	小児期から成人期への移行期にある小児慢性疾病児童等への適切な医療を提供するため、小児期及び成人期をそれぞれ担当する医療従事者間の連携など支援体制の整備や、患者の自律(自立)支援を行う。							
	ア 移行期医療支援センター事業	5,583千円		ア 移行期医療支援センター事業	5,583千円			
	イ 事務費(検討会議開催)	80千円		イ 事務費(検討会議開催)	80千円			
2 事業主体及び負担区分 【厚生労働省】 母子保健衛生費補助金 (国1/2・県1/2)	(1) 事業内容 小児期から成人期への移行期にある小児慢性疾病児童等への適切な医療の提供に関する課題を解消するため、小児期及び成人期をそれぞれ担当する医療従事者間の連携など支援体制の整備や、自身の疾病等の理解を深めるなどの自律(自立)支援の実施により、移行期医療支援体制の整備を行う。							
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(区分)こども子育て費 (細目)こども成育費(細節)母子医療対策費	(2) 事業計画 令和元年度 移行期医療支援センター開設 令和 7年度 支援対象 4,629人(令和6年度末小児慢性特定疾病受給者数)							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1=950千円	(3) 事業効果 ア 移行期医療支援センター事業 (フ) 患者が罹患した疾病を問わず、年齢に応じた適切な医療を提供できる体制の整備 (イ) ヘルスリテラシーに基づき、患者自身が適切な受診先を選択できる環境の整備 (ウ) 小児病院の患者受け入れ態勢強化(成人患者の移行による小児患者の受け入れ可能量確保) 【活動指標(アウトプット)】専用相談窓口の設置 移行期支援コーディネーター1名配置 【成果指標(アウトカム)】相談件数 600件 移行件数 370名 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 行政機関、医療機関、患者団体など小児慢性疾病児童等を支援する団体との連携を図る。							

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
		国庫支出金						
決定額	5,663	2,831					2,832	952
前年額	4,711	2,355					2,356	

事業内訳書

事業名	移行期医療支援体制整備事業		
単位事業名	移行期医療支援センター事業	予算額	5,583千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	2,791	476	【こども家庭庁】 母子保健衛生費補助金 補助率 1/2
一般財源	2,792	476	
合計	5,583	952	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	5,583	952	移行期医療センター業務委託
合計	5,583	952	

単位事業名	事務費	予算額	80千円
-------	-----	-----	------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	40	0	【こども家庭庁】 母子保健衛生費補助金 補助率 1/2

単位事業名	事務費	予算額	80千円
-------	-----	-----	------

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	40	0	
合計	80	0	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	80	0	検討会議委員謝金 1回分
合計	80	0	